

遺骨と祈り

フォトジャーナリスト 安田 菜津紀



**福島、沖縄、パレスチナ——
原発と基地と虐殺の地をめぐり
不条理を強えられる周縁の人々を追う**

東日本大震災で、津波にさらわれた娘の遺骨を探す父。
沖縄戦の戦没者遺骨を収集するボランティア男性。
異なる理由で遺骨を探す二人の活動に著者は、「周縁」の地が
「中央」から不条理を強えられる構造を見る。
一方、パレスチナでは戦闘が日常化し、日々死者が出続ける中、
日本は沈黙を続けている——

死者をないがしろにする社会が、生きた人間の尊厳を守れるのか？ 現地に赴き取材を続けるジャーナリストの記録。

著者：安田 菜津紀 (やすだ なつき)

1987年神奈川県生まれ、上智大学卒。フォトジャーナリスト。認定NPO法人 Dialogue for People 副代表。国内外で難民や貧困、災害の取材を行う。著書に『国籍と遺書、兄への手紙』（ヘウレーカ）、『外国人差別の現場』（朝日新聞出版）、『あなたのルーツを教えてください』（左右社）他。TBS「サンデーモーニング」コメンテーター。

★5月下旬、朝日・読売新聞に半五段広告出稿予定

2025年5月22日発売

◎定価：1,760円（税込）

◎仕様：B6変型判、296頁、本文1色
+口絵8ページ

ご返信Fax番号：03-5395-5320 新刊注文〆切：5月8日

取次店 書店名

注文数

書名

販促物ご希望記入欄

遺骨と祈り

安田 菜津紀

 POP

ご担当者様名

〈わたしの旅ボックス 61〉

冊

定価：本体1,600円+税 発行：株式会社産業編集センター 978-4-86311-443-2 C0026

様